

「ICTを活用した農業の高度化等推進に関する勉強会」概要

次世代の農業の高度化に向け、ICTを活用した農業の情報化が重要となっている。FWA等の高速大容量の無線伝送を活用し、農地からのセンサー情報、農作業履歴、生育情報等を送受信し、農業ノウハウを蓄積して高度に活用することができれば、農業技術のイノベティブな展開を実現・推進することができる。このことから、農業のICTの活用について勉強会を開催しています。

- ◆ センサーで収集した農業環境及び農作業履歴を抽出し、無線でデータを収集・伝送して営農情報の知識を蓄積し活用（農機作業履歴、機械操作、圃場情報、作物生育情報、気象情報等）
- ◆ 通信を使ったICT農業技術による高精度・安全な農作業
- ◆ G空間情報利用により熟練農家の知識・知恵・営農ノウハウを伝送しデータベース化

【関係機関の連携により農業ICT化の実証】

- ICTを活用した農業機械のスマート化を推進
- 農業ビッグデータの活用検討（FWA等によるビッグデータの伝送・蓄積）
- 関係団体と連携して芽室町で農業ICT化の実証

勉強会の開催

【参加メンバー】

野口北大教授（主査）
岡本北大准教授
石井北大准教授
岡田北大講師
農水省 北海道農政事務所
芽室町
芽室町農業協同組合
農研機構 北海道農業研究センター
北海道立十勝農業試験場
株式会社オーレンス
株式会社IH
NTTデータカスタマサービス株式会社
総務省 北海道総合通信局（事務局）

農業ICT化の実現イメージ

